



清水みぎわ保育園 入園希望の方からよくあるご質問



入園をご検討いただいている方からよく頂戴する
ご質問とその回答を一覧にまとめました。
この他、ご不明点ございましたらいつでもお問い合わせください。

社会福祉法人 美樹和会
清水みぎわ保育園
TEL : 075-602-7375
(担当 藤原光子)





企業主導型保育所とは何ですか？

企業が自社従業員と地域のために設置した保育園です。内閣府から補助を得て運営しており、自治体にとっては認可外保育所という位置づけになります。当園では、社会福祉法人美樹和会が40年の認可保育所運営経験を活かして認可保育所と同等の質の保育を行っています。医療法人清水会、社会福祉法人弥勒会がメインの連携企業ですが、他企業の方も連携協定を結ぶことで利用できます。企業だけではなく地域（京都市以外も対象）のお子さまも受け入れることができます。



保育料はいくらですか？

0歳児～2歳児の企業枠の方は毎月10,000円、地域枠の方は15,000円の保育料をお支払いいただきます（口座自動振替ですので現金をご持参いただく必要はありません。）
3歳児～5歳児のすべての世帯および、0歳児～2歳児の非課税世帯（生活保護者・里親含む）の方は、幼保無償化により保育料が無料となります。
※地域枠の方は、お住まいの自治体から保育認定2号もしくは3号を取得されている必要があります。



地域枠は京都市に在住している人のみが対象ですか？

いいえ、企業枠・地域枠ともに京都市以外の地域の方もご利用いただけます。





病後児保育と体調不良児保育の違いは何ですか？

病後児保育は病気やけがの回復期で、集団生活が困難な期間において、正看護師が1階の病後児保育室または安静室で保育看護を行うものです。ご利用の際は医師による「病後児保育連絡票」の提出が必要です。

体調不良児保育は、保育中に体調不良となり、集団生活が困難と判断される場合、保護者の方がお迎えに来られるまで、正看護師が保育看護を行うものです。



インフルエンザなどの場合でも病後児保育を利用できますか？

正看護師が常駐しておりますので、学校安全保健法で定められている受け入れ基準を超えての対応が可能です。ご質問のインフルエンザの場合、発症後4日目から受け入れできます（症状の回復傾向がみられる場合に限りです）。その他の疾患につきましては、「病後児保育・体調不良児保育のご利用案内」にて詳しく説明しておりますので、ご確認の上、ご利用ください。



お昼寝布団の持ち帰りはありますか？

いいえ、ありません。お昼寝布団は園で購入したものをレンタル（年額2,400円）という形で提供しております。シーツや掛布団の洗濯も園にて行っておりますので、お持ち帰りいただく必要はありません。





おむつの持ち帰りはありますか？

いいえ、その日に出た使用済みおむつは園で破棄しています。
また、紙おむつ・布おむつ、どちらを使用されても結構です。



ベビーカーや自転車は置いておけますか？

ベビーカーは玄関入口に専用スペースがあります。そこに置いてお仕事に行かれても結構です。
自転車は盗難防止のため、登園時と降園時のみのご利用としており、日中置いていただくことはできません。



車での送迎は可能ですか？

はい、登園時および降園時のみ、お使いいただけます。
ただし、台数に限りがございますので、その旨ご承知おきください。



お迎えが遅れたときはどのような対応になりますか？

お仕事のご都合でお迎えが遅くなることもあると思います。
その際はお電話をいただくか、保護者用の「コドモンアプリ」でのご連絡で保育を継続することができます。
遅延金はありません。ただし、お迎えが遅くなる頻度が高くなるようでしたら、契約時間の変更をお願いいたします。





保護者会はありますか？

いいえ、保護者の皆様の時間的なご負担を軽減する観点から設けていません。保護者の皆様同士の交流は、運動会や親子ふれあい遊びの機会に行うことができるよう、工夫しています。



主な行事はなんですか？
また、必ず参加しなくてはならない行事はありますか？

運動会（幼児組）、親子ふれあい遊び（乳児組）、生活発表会（幼児組）があります。
行事では、日常で積み重ねた子どもたちの成長を感じていただけるよう、そして子どもたちにとっても楽しい機会となるよう工夫しています。
また、行事は主に土曜日に行っており、強制参加ではありません。



連絡帳はありますか？

保育士が子どもたちにかかわる時間を最優先にするという観点から、個人の連絡帳は設けておりません。その日の子どもの様子は、クラス単位で写真と文章でお伝えできるよう、「コドモンアプリ」でダイアリーとして配信しております。また、お迎えに来られた際に口頭でもしっかりその日の様子をお伝えいたします。





保護者負担金はありますか？

「園のためではなく、子どものためにお金を使えるように」。
この保護者支援方針のもと、入園・進級費用や給食費（※）については可能な限り、低減しています。

（※）3歳児以上の主食費を500円、副食費を4,500円（国の基準では主食費3,000円、副食費4,500円）にするなど、不要な金銭負担が生じないよう努力しています。



給食はどこで調理していますか？
また、献立はどのようなものですか？

給食・手作りおやつは、連携施設である「みぎわ保育園」で調理し、保冷車で運搬し、提供しています。

献立も当法人の管理栄養士・栄養士が、栄養価の充足や多様な食体験ができるよう配慮し、作成しています。

献立は和食をメインとしつつ、中華や洋食のメニューもバランスよく採り入れています。

新メニューも随時導入し、子どもたちにとって「おいしい・たのしい」給食を心がけています。



発熱時、何℃でお迎えですか？

目安として38.0℃を超えた時点でご連絡するようにしております。
38.0℃を超えない場合でも、感染症の疑いのある症状がある場合や、普段の様子と異なり体調不良が懸念される場合はご連絡する場合がございます。お迎えをお願いする際も、保護者の方のお仕事の状況などを勘案し、柔軟に対応します。また、どうしてもお仕事の都合などですぐにお迎えに来られない場合は、体調不良時保育をご利用いただくこともできます。





子どもたちが外で体を動かす機会や、園外での活動はありますか？

園の周辺には住吉児童公園（園から南に 30m）をはじめ、多くの公園がありますので、お天気のいい日には園外へお散歩に出かけます。お散歩の際は、付き添いの保育士を十分に配置し、安全な経路を確認してから行くなど、安全第一に行っています。また、園の 2 階には大きなホールがありますので、マットや鉄棒、滑り台などを使い、体をめいっぱい動かして活動ができる環境があります。



災害対策はしていますか？

はい、月に 1 回の地震・火災訓練に加え、消防署から直接アドバイスを受けた消火訓練も行っております。園外へ避難する場合、指定避難場所である住吉小学校や京都教育大学付属高校へ向かいます。また、防犯カメラの設置や電気錠の導入（日中は施錠）に加え、アルソックの警備システムや保護者専用のカードキー（スマートロック）も活用しており、防犯上の対策を何重にも講じています。また、不審者対応の訓練も園全体で行っています。



入園の際に用意しておくものはありますか？
また、保護者が手作りで作るものはありますか？

手作りをお願いするものは一切ありません。ご家庭でお子さまとの時間をゆっくりお過ごしいただけるよう、ご負担をなるべくおかけしない方針を徹底しています。





子育て上の相談はいつできますか？

いつでもご希望を承っております。日々子どもたちの様子は担当クラスの保育士が、食に関するご相談は栄養士が、発達面での専門的なご相談は言語聴覚士・臨床心理士・作業療法士が、いつでもお受けできる体制を整えています。お気軽にお声がけください。



見学はできますか？

清水みぎわ保育園を含め、美樹和会の施設はいつでもご見学いただけます。お気軽にお問い合わせください。



保育園見学チェックリスト



チェック項目		○	△	×	?
I. 園の保育方針					
1	園の保育方針が、ご家庭の子育て方針に合っているものと感じるか				
2	園の理念や保育面で大事にしていることを見学時に尋ねたとき、わかりやすい言葉できちんと答えてもらえるか				
3	ホームページ等で方針が明確に打ち出されており、十分な情報を収集できるか				
II. 保育の質					
4	各クラスに配置されている職員の数は十分か（1名の保育士が担当できる子どもの数は、京都市の基準で「0歳児3名、1歳児5名（ただし10月2日以降生まれは4名）、2歳児6名、3歳児15名、4歳児20名、5歳児25名」）				
5	ベテランから中堅、若手まで、幅広い年代の職員がバランスよく配置されている園か				
6	園内の雰囲気から、職員同士の関係性の良さが感じられるか（これは保育の質にも直接影響する）				
7	見学時に見た子どもたちが、いきいきと笑顔で過ごしている様子か				
8	園内全体が清潔で、整頓・掃除が行き届いているか				
9	子どもたちが遊ぶスペース、食べるスペース、寝るスペースがきちんと考えられて構成されているか				
10	保育室内におもちゃや絵本などが十分用意されているか、またそのおもちゃや絵本は老朽化していないか				
11	園庭があり、子どもたちが屋外で遊べる環境が整っているか				
12	園庭がない場合、近隣の公園などに遊びに行き、外遊びの機会が十分に確保されているか				
13	保育士は笑顔で子どもと接し、ともに遊び込んでいるか（またはしっかり子どもを見守っているか）				
14	保育士の子どもたちへの言葉がけはやさしく丁寧なものか				
15	園の行事は、日常保育との連続性をもち、園児の育ちを意識したものになっているか				
16	子どもの発達にかかわる専門家が園内にいて、発達の課題をかかえた子どもに、個別の支援を行える園か				
17	給食・おやつの献立の内容が充実しており、栄養価計算の基準もクリアしているか				
III. 子どもの安全・衛生					
18	家具の四隅へのコーナークッション設置やドアの指詰め対策、階段からの転落防止策など安全対策が講じられているか				
19	乳児のお昼寝時の呼吸チェックをしっかりと行っているか（SIDSや窒息対策）				
20	園外に散歩に行く場合、「園外活動マニュアル」等に基づいた経路の設定や安全確保の計画があるか				
21	幼児（3歳児以上、特に5歳児）に交通安全意識を伝える取り組みが行われているか（園外活動の安全確保+小学校進学時の事故予防）				
22	夏場の水遊びやプール遊びがある場合、マニュアルがきちんとあり、監視役と指導役の保育士が別々についているか				
23	食物アレルギーがある子どもに対し、誤食を防ぐための予防策を設けているか				
24	子どもの怪我や体調不良への対応、感染症予防活動を園全体でしっかり行っているか（看護師がいればいいというものではない）				
25	子どもに熱が出た場合など、お迎えまでしっかりした体制で見守れるか（どこでどうやって安静に過ごすか。ケアをどうするか）				

保育園見学チェックリスト



チェック項目		○	△	×	?
26	保育中に通院が必要な怪我が生じた場合、保護者への連絡や病院への通院などにきちんと対応できるか				
27	感染症の流行期中だけでなく流行期前から、園内の感染拡大を防止する対策をとっているか				
28	不審者侵入を予防したり、侵入時の職員の対応がマニュアルになっており、訓練も行われているか				
29	災害（地震・台風・水害・土砂災害など）に備えたマニュアルがあり、毎月の防災訓練を励行しているか				
30	園バスがある場合、運行計画（安全な経路の選択、運転手の管理、車両整備、園児の昇降確認等）が実践されているか				

IV. 保護者支援

31	日々の育児相談、発達相談をいつでも受けられる体制があるか				
32	日曜日と祝日（年末年始含む）以外はすべて開所しているか（お盆期間や3月末などに園都合で休園したり、家庭保育のお願いをしていないか）				
33	慣らし保育はどのくらいの期間が必要か、その理由も含めて園がしっかり説明できるか				
34	使用済みのオムツは家庭への持ち帰りでなく、園で処理しているか				
35	オムツを園で準備するサービス（有料）がオプションとしてあるか				
36	布団やシーツの持ち帰りがあり、家庭での洗濯の手間がかからないか				
37	毎朝の登園時の持ち物が多すぎたり、保護者の準備に負担が大きすぎないか				
38	家庭からお弁当持参の日がなく、毎日給食がしっかり提供されるか				
39	行事等で保護者の役割・負担がある場合、仕事と育児とを両立できるレベルか				
40	行事は、保護者の参加しやすい土曜日などに開催するよう配慮がなされているか				
41	園と保護者とのコミュニケーション手段として、スマホなどで扱えるシステム/アプリを導入しているか（冊子の連絡帳より簡便でスムーズ）				
42	保護者に対し、日々の保育、給食、行事などの情報をタイムリーに発信しているか（お迎えの際の担任保育士とのやりとりに加えて）				
43	京都市が徴収する保育料以外の、園が徴収する保護者負担金が高すぎないか				
44	お迎えの時間に柔軟に対応してもらえるか（仕事の都合や交通情報などで遅れることも当然あるので、そこで遅延料金を徴収されないか）				
45	子どもの発熱の場合、37.5℃を超えたらすぐにお迎えをお願いするのではなく、登園時の視診触診の結果や保護者からの伝達内容、子どもの普段の様子との違いなどから総合的に判断できるか（発熱がなくても普段と様子が違う場合はお迎えをお願いすることがある。他方で、37.5℃を超えても、それが一時的なものである可能性があれば、様子を見つつ園で保育を継続することもある）				
46	休日保育や19時以降の長時間保育、夜間保育にも対応しているか				
47	保護者同士の交流を希望する方が、交流を持てるような機会があるか（日々の送り迎えの際の交流機会・場所、行事などの機会、保護者会に限らず任意での保護者同士の繋がり、子育て支援クラブの存在など）				
48	保育園の卒園後も、園とのつながりを保ち、継続的なサポートを受けられるか（学童クラブの併設等による小学生以降の支援の有無）				

V. 最後には（これがとても重要）

49	親の直感として、園に好感を持てるかどうか、この園に通わせたいと感じるかどうか				
50	自分の子どもがこの園に通って、笑顔で過ごし、成長する姿が想像できるか				